

# 重点目標一覧表

担当部局名	健康こども未来部
-------	----------

## 【令和元年度重点目標】

## 【令和2年度重点目標】

重点目標	「からだもこころも元気な健幸都市上田の実現」に向けた各種健康施策の推進	重点目標	「一人ひとりが健康で幸福なまち健幸都市の実現」に向けた各種健康施策の展開	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）		具体的な重点取組項目（箇条書き）	
	達成状況・達成度		期限・数値目標等	
1	<b>①「健康幸せづくりプロジェクト事業」の推進</b> (1)子どもの健康づくり支援 保育園運動プロジェクト「チャレンジキッズ」の実施 (2)若い世代からの健康づくり支援 ア 30歳代若年健診の実施 イ 妊婦無料歯科検診の実施 ウ 二十歳（はたち）無料歯科検診の実施 (3)健康づくりチャレンジポイント制度の実施 (4)健幸ウォーキング事業の実施 (5)健康プラザうえだを活用した「健幸まつり」イベントの実施【新規】 (6)あたま・からだ元気体操の実施（通年事業化）【充実】 (7)健康づくり応援アプリを活用した健康無関心層へのアプローチ【新規】 (8)健康相談窓口（まちかど保健室）、食育啓発イベントの実施【新規】 <b>②糖尿病等生活習慣病重症化予防の推進</b> (1)市民健康づくりシンポジウムの開催（6/16（日）） (2)プログラムに基づいた保健指導の実施 (3)対象者（健診中断者）に応じた受診勧奨の強化（電話、訪問等） (4)「第2次上田市食育推進計画」の推進と進捗管理 <b>③検（健）診の受診率向上強化</b> <b>④こころの健康づくりの推進</b> (1)「上田市自殺対策計画」の周知、及び「自殺対策連携会議」による進行管理 <b>⑤妊娠・出産包括支援事業の推進</b> (1)産婦健康診査事業の実施による産婦支援の充実【新規】	<b>①</b> (1)運動指導園児数：延べ1,992人  (2)-ア（社保）受診者数：389人(対象者14,058人) 受診率2.8% ※参考（国保）受診者数：269人(対象者2,191人) 受診率12.3% (2)-イ 受診者数：442人(2月末現在) (2)-ウ 受診者数：170人(対象者1,565人) 受診率10.9% (3)参加者数：7,411人（R元新規1,274人） (4)参加者数：1,350人 (5)11月3日開催 参加者数：300人 (6)夏の部参加者数：6,366人、冬の部参加者数1,556人、合計：7,922人 (7)ダウンロード数：1,325人 (8)まちかど健康相談室：6回開催（120人）、食育啓発イベント：2回開催 <b>②</b> (1)参加者数：274人 (2)保健指導実施者数：303人 (3)受診勧奨者数：707人 (4)庁内連携会議：1回 <b>③</b> 47医療機関実施 生命保険会社との連携：1社 <b>④</b> (1)自殺対策連携会議 2回 <b>⑤</b> (1)産婦健診受診者731人（4～1月）受診率 98.4%	<b>①「健康幸せづくりプロジェクト事業」の推進</b> (1)子どもの健康づくり支援 保育園運動プロジェクト「チャレンジキッズ」の実施 (2)若い世代からの健康づくり支援 ア 30歳代若年健診の実施 イ 妊婦無料歯科検診の実施 ウ 二十歳（はたち）無料歯科検診の実施 (3)健康づくりチャレンジポイント制度の実施 (4)健幸ウォーキング事業の実施 (5)健康プラザうえだ10周年記念事業「健幸まつり」イベントの実施【充実】 (6)あたま・からだ元気体操の実施（冬の部会場の増）【充実】 (7)健康づくり応援アプリ「うえいく」の安定した運営 (8)まちかど健康相談室、食育啓発イベントの実施 (9)「うえいく+（プラス）」（筋トレウォーキング）事業の実施【新規】 <b>②糖尿病等生活習慣病予防の推進</b> (1)市民健康づくりシンポジウムの開催（10/11（日）） (2)プログラムに基づいた保健指導の実施 (3)対象者（健診中断者等）に応じた受診勧奨の強化（電話、訪問等） (4)「第2次上田市食育推進計画」の推進と進捗管理 <b>③検（健）診の受診率向上強化</b> <b>④こころの健康づくりの推進</b> (1)「自殺対策連携会議」による進行管理 (2)ゲートキーパー研修の実施 <b>⑤妊娠出産包括支援事業の充実</b> (1)不育症・不妊治療費補助金交付事業の実施【充実】 (2)産後ケア事業（宿泊型【新規】）等による産婦支援の充実 (3)県外定期予防接種補助、造血細胞移植後のワクチン再接種助成事業の新設【新規】	<b>①</b> (1)運動指導児数：延べ2,000人  (2)-ア（社保）受診者数：400人 ※参考（国保）受診者数：350人 (2)-イ 受診者数：600人 (2)-ウ 受診者数：180人 (3)参加者数：8,400人 （新規参加者数：1,000人） (4)年間参加者数：1,500人 (5)11月3日開催予定 参加者500人 (6)参加者数：延べ8,500人 (7)ダウンロード者数：新規700人 (8)相談室：6回、食育イベント：2回 (9)参加者：延べ150人 <b>②</b> (1)参加者数：500人 (2)保健指導実施者数：400人 (3)受診勧奨者数：1,000人 (4)庁内連携会議：1回 <b>③</b> 医療機関に受診勧奨協力依頼 <b>④</b> (1)自殺対策連携会議 1回 (2)健康推進委員への周知 550人 <b>⑤</b> (1)不育症 必要な人1～5人 (2)産後ケア利用者数20人 (3)必要な人
	2	<b>重点目標</b> 幼児教育・保育の無償化と「安心子育てのまちづくり」に向けた事業の推進・充実 具体的な重点取組項目（箇条書き） <b>① 幼児教育・保育無償化の実施【新規】</b> (1)幼児教育・保育無償化準備・実施 ・幼児教育・保育無償化償還払い等電算システム化 ・無償化の実施 (2)食材料費に関する調整 ・副食費の調整・金額決定 ・実費徴収方法の決定・システム化 (3)認可外保育施設の質の確保と向上 ・認可外施設の支援策及び補助の検討 <b>②上田市保育園等運営計画に基づく保育施設の整備</b> (1)丸子地区統合保育園（みなみ、東内、わかくさ三園統合）の整備 (2)老朽保育施設の長寿命化及び保育環境の整備 (3)保育施設等の再配置に向けた調査・研究 <b>③第二次上田市子ども・子育て支援事業計画策定</b> (1)子ども・子育て会議の開催 (2)計画の策定【新規】 <b>④地域における子育て支援の充実</b> (1)子育てサポーター養成講座開催 (2)地域の子育て支援団体との連携 <b>⑤子育て世帯包括支援センターの機能充実</b> (1)母子保健、子育てコーディネーターの連携強化 (2)地域の関係機関との連携、協働の体制づくり (3)見守りし合わせ支援事業の実施 <b>⑥幼保小中の連携の推進（スタートカリキュラムに向けての連携）</b> <b>⑦子育て支援情報発信の充実</b> (1)子育て応援サイト・アプリ「うえだ家族」の運営 (2)子育て情報内容充実	<b>①</b> (1) ・システム改修も含め完了 ・10月1日無償化開始 (2) ・金額を決定、規則制定 ・口座引き落としとし、システム化完了 (3) ・支援策検討 <b>②</b> (1)造成工事完了、建築工事着手 (2)老朽状況の把握完了 (3)各地域の人口推移を調査 <b>③</b> (1)全体会6回、部会2回 (2)策定 <b>④</b> (1)養成講座修了者7人 (2)わくわくファミリーフェスタは、東日本台風災害のため中止。 <b>⑤</b> (1)連携会議 月1回 (2)各所巡回 月2回 (3)支援者 5人 <b>⑥</b> ブロック会議の開催、相互交流による連携事業を実施 <b>⑦</b> (1)情報の更新：行政情報41件、イベント情報1,205件 (2)子育て応援ハンドブック更新：発行1回、メール配信月1回	<b>重点目標</b> 安心して子育てができるまちづくりと質の高い幼児教育・保育の推進 具体的な重点取組項目（箇条書き） <b>①上田市保育園等運営計画に基づく保育施設の整備</b> (1)丸子地区統合保育園（みなみ、東内、わかくさ三園統合）の整備 (2)老朽保育施設の長寿命化及び保育環境の整備 (3)保育施設等の再配置に向けた調査・研究 <b>②質の高い幼児教育・保育の質の推進と受入体制の充実</b> (1)認定こども園の推進【充実】 (2)信州自然型保育認定の推進【充実】 (3)多子世帯等の副食費の軽減策の実施【新規】 (4)認可外保育施設の質の向上及び支援【新規】 <b>③保育士の人材確保</b> (1)保育士養成校に通う学生の保育所への就職促進 (2)再就職希望者への支援 <b>④第2次上田市子ども・子育て支援事業計画の進行管理</b> (1)子ども・子育て会議委員の選定、会議開催 (2)計画の進行管理 <b>⑤地域における子育て支援の充実</b> (1)子育てひろばで活動する子育てサポーター養成講座の開催 (2)地域で活躍している子育て支援団体との連携 <b>⑥子育て世帯包括支援センターの機能充実</b> (1)母子保健コーディネーターと子育て支援コーディネーターの連携強化 (2)地域の関係機関との連携、協働の体制づくり (3)見守りし合わせ支援事業の実施 <b>⑦幼保小中の連携の推進（スタートカリキュラムに向けての連携）</b> <b>⑧子育て支援情報発信の充実</b> (1)子育て応援サイト・アプリ「うえだ家族」の運営 (2)子育て情報内容充実

# 重点目標一覧表

担当部局名	健康こども未来部
-------	----------

## 【令和元年度重点目標】

## 【令和2年度重点目標】

重点目標	医療費適正化の推進と国民健康保険の適切な運営		重点目標	医療費適正化の推進と国民健康保険の適切な運営	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
3	①医療費適正化の取組（保険者努力支援制度評価項目） （1）健康推進課と連携した特定健診等実施率向上の取り組み （2）重複受診者、頻回受診者への指導 （3）若年健診の実施 （4）第三者賠償請求の取組推進 （5）後発医薬品の利用促進	① （1）特定検診受診率 37.2%（R2.2月末現在） （2）指導率 83% （3）若年健診受診率 89.1%（269人） （4）傷病届自主提出率 59.46% （5）後発医薬品使用割合 79.5%	①医療費適正化の取組（保険者努力支援制度評価項目） （1）民間ノウハウ等を活用した特定健診等実施率向上の取り組み【充実】 （2）第三者賠償請求の取組推進 （3）後発医薬品の利用促進	① （1）特定健診実施率 47.5% （2）傷病届自主提出率 60% （3）後発医薬品使用割合 80%	
	②国保税率の検討 （1）国保税率の検討 （2）基金の活用を含めた財政運営の検討	② （1）令和2年3月議会へ条例案上程、議決 （2）10月3日、1月16日に運営協議会を開催	②国保財政の健全な運営 （1）国保税率の検討 （2）基金の活用を含めた財政運営の検討	② （1）運営協議会への諮問、答申（改定の場合3月議会へ条例改正提案） （2）運営協議会での協議	
4	③収納率の向上と国保資格適用の適正化の推進 （国保：保険者努力支援制度評価項目） （1）口座振替の推進 （2）被保険者証の窓口交付の実施 （3）年金被保険者情報を活用した国保脱退勧奨等の実施	③ （1）当初及び毎月の更正通知書発送時に口座振替申込はがきを同封 （2）令和元年10月選定窓口交付対象者来庁率34.3% 35世帯中12世帯来庁 （3）毎月対象者に脱退等届出勧奨通知を送付	③収納率の向上と国保資格適用の適正化の推進 （国保：保険者努力支援制度評価項目） （1）口座振替の推進 （2）年金被保険者情報を活用した国保脱退勧奨等の実施 （3）オンライン資格確認等の実施に伴うマイナンバーカード取得推進	③ （1）口座振替勧奨文の送付 （2）脱退等届出勧奨通知の送付 （3）マイナンバーカード取得勧奨文の送付	
	④健康寿命の延伸と医療費の適正化 （1）地域特性に基づくフレイル予防・健康増進事業【新規】		④健康寿命の延伸と医療費の適正化 （1）地域特性に基づくフレイル予防・健康増進事業【新規】	④ （1）健康状態把握調査の実施 年1回	
重点目標	救急医療体制の整備と医師の確保による地域医療体制の充実		重点目標	救急医療体制の整備と医師の確保による地域医療体制の充実	
4	①安定的な医師確保体制の整備と充実 （1）上田市医師確保修学資金等貸与制度の実施及び制度の検証 （2）信州上田医療センターの医師確保事業への支援	①（1）修学資金継続貸与者5人への継続貸与。新規に修学資金2人、研修資金1人に貸与を始めた。制度の周知を図るため、高校、予備校にチラシを配布した。	①これまでの事業の検証、改善策の検討及び事業の推進 （1）地域医療政策総合調整参事によるこれまでの事業の検証 （2）検証を受けての事業の改善策検討及び推進	①短期的課題については、検証後の改善策を含む具体的事業の検討及び推進。中長期的課題については、事業の検証及び次年度以降の事業内容の検討	
	②救急医療体制の確保 （1）内科・小児科初期救急センターの運営と周知 （2）深夜・休日の初期救急患者受入体制の整備 （3）病院群輪番制病院と後方支援病院の信州上田医療センターへの支援	②（1）救急センターの運営と「広報うえだ」にて周知 （2）輪番病院での受入体制を確保 （3）広域連合ふるさと基金を活用して財政的支援を実施	②安定的な医師確保体制の整備と充実 （1）上田市医師確保修学資金等貸与制度の実施及び制度の検証 （2）信州上田医療センターの医師確保事業への支援	②（1）修学資金等貸与制度の維持管理及び制度の検証並びに被貸与者のフォロー 通年 （2）信州上田医療センターの医師確保事業を広域連合と連携して実施 通年	
4	③地域の医療環境を守るため、医療機関の役割を広報し、適切な受診を推奨	③「広報うえだ」や出前講座等で市民に周知	③救急医療体制の確保 （1）内科・小児科初期救急センターの運営と周知 （2）深夜・休日の初期救急患者受入体制の整備 （3）病院群輪番制病院と後方支援病院の信州上田医療センターへの支援	③広域連合、関係市町村と連携して事業を実施。初期救急医療と二次救急医療体制を確保する。 通年	
	④「上下小医療圏地域医療再生計画継続事業終了後の地域医療対策事業」の実施及び事業の検証	④広域連合ふるさと基金を活用して実施。事業の一つである「医師長期勤務報奨金の交付方法を「在職時」にも拡大	④地域の医療環境を守るため、医療機関の役割を広報し、適切な受診を推奨	④「知って安心・医療の仕組み」を活用し、広報を実施 通年	
4	⑤在宅医療・介護連携事業の推進 在宅医療・介護連携・フレイル予防に関連した研修会の開催（福祉部と連携）	⑤オーラルフレイル予防についての講演会を計画したが、新型コロナウイルス感染症予防ため、実施できなかった。	⑤広域連合ふるさと基金を活用した地域医療対策事業の実施及び事業の検証	⑤事業効果の把握と翌年度以降の事業内容の検討 通年	



# 重点目標一覧表

担当部局名	健康こども未来部
-------	----------

## 【令和元年度重点目標】

## 【令和2年度重点目標】

重点目標	多様なニーズに応えるきめ細かな子育て支援施策の充実	重点目標	多様なニーズに応えるきめ細かな子育て支援施策の充実	
具体的な重点取組項目（箇条書き）		具体的な重点取組項目（箇条書き）		
達成状況・達成度		期限・数値目標等		
5	<b>①発達支援体制の強化</b> (1) 発達支援事業の啓発と強化 ア ガイドブックを作成し、市民向け出前講座や小中学校等に配布 イ 市民向け発達講演会 年1回開催 (2) 発達相談・支援の充実 ア 各保育園に対する相談事業、巡回指導を実施 イ 5歳児相談（支援）事業の構築 ウ 障がい加配保育士など保育士の確保とスキルアップ【充実】 エ 継続的な支援・効果的な支援に向けて支援ノート「つなぐ」利用促進 オ 未発達な感覚を育てるため運動教室の開催 (3) 発達支援に関する支援者の資質向上【定住自立圏取組項目】 ア 支援者向け研修会の実施 イ 発達支援担当保育士育成研修の実施 ウ 保育所職員に対する研修の実施 エ 上田地域定住自立圏検討会議の開催 <b>②虐待予防と早期発見、適切な対応のための体制づくり</b> (1) 虐待予防の啓発活動、講演会の開催 <b>③ひとり親家庭への支援の充実</b> (1) 就労支援情報等の提供 (2) ひとり親家庭生活・学習支援事業の開始【新規】	<b>①</b> (1) ア 幼保育園、小中学校、児相発達支援センター等関係機関にガイドブックを配布。出前講座の開催(学海南・参加者38人) イ 6月30日開催 参加者59人 (講師：吉村小児科院長 内海裕美氏) (2) ア 保育課：相談事業86回(延べ146人)、巡回指導48回実施 発達相談センター：幼稚園巡回相談 20回 相談人数 258人 イ 事業化への課題の整理 ウ 保育の職場体験会を開催(参加者5人) エ 支援ノート「つなぐ」83冊発行 オ 幼児コース：実人数11人延べ 72人 児童コース：実人数 9人、延べ 28人 (3) ア 8月1日開催 参加者100人(講師：長野保健医療大学 福田恵美子氏) イ 公開保育(10/25中止)、学習会3回(参加者141人)、児童発達支援センター研修11回実施(参加者39人) ウ 11/1、11/22実施(参加者延べ500人) エ 保育課：担当者会議3回開催、発達相談センター：3回開催 <b>②</b> (1) 1月19日児童虐待防止講演会開催 参加者90人 (講師：千葉県市川児童相談所長 渡邊 直氏) <b>③</b> (1) ひとり親家庭からの相談に応じ、就労に有利な資格取得のための各種制度利用の提案や県就労支援員等と連携した就労支援を行った。 (2) 10月から市内小学5年生10人、小学6年生11人に対し週1回の生活・学習支援を行った。(各学年24回)	<b>①発達支援体制の強化</b> (1) 発達支援事業の啓発と強化 ア 「うえだ発達支援事業」(ガイドブック)の配布や出前講座等の実施 イ 市民向け講演会を上田地域定住自立圏構成市町村と共同開催 (2) 発達相談・支援の充実 ア 各保育園に対する相談事業、巡回指導を実施 イ 継続的な支援・効果的な支援に向けて支援ノート「つなぐ」利用促進 ウ 「感覚を育てるため運動教室」の開催 エ 4か月健診における作業療法士の個別相談【新規】 (3) 発達支援に関する支援者の資質向上【定住自立圏取組項目】 ア 上田地域定住自立圏検討会議の開催 イ 発達支援担当保育士育成研修の実施 ウ 保育所職員に対する研修の実施 <b>②虐待予防と早期発見、適切な対応のための体制づくり</b> (1) こども家庭総合支援拠点の機能の充実及び関係機関等との連携強化 ア 家庭児童相談システムを導入し、庁内における連携・情報共有等の強化・充実を図る イ 要保護児童対策地域協議会の開催による関係機関との連携強化 (2) 児童虐待の発生を未然に防止するため、啓発活動、講演会の開催 <b>③ひとり親家庭への支援の充実</b> (1) 就労支援情報等の提供 (2) ひとり親家庭生活・学習支援事業の開始	<b>①</b> (1) ア 発達支援事業ガイドブックを1,500部作成し、学校、保育園・幼稚園、医療機関等へ配布 イ 市民向け発達講演会 1回開催 (2) ア 保育課：相談事業96回、巡回指導60回実施 幼稚園巡回相談 30回、相談人数 300人 イ 支援のノート「つなぐ」の広報掲載と活用の周知 ウ 感覚をそだてる運動教室の開催幼児3コース・児童2コース エ 年54回実施 (3) ア 発達相談センター：3回開催 保育課：担当者会議3回開催 イ 公開保育 10/21塩田中央保育園で開催 保育学習会3回(5・7・1月)実施 児童発達支援センター研修11回実施 ウ 8月、10月に2回実施 <b>②</b> (1) ア 家庭児童相談システムの運用開始 イ 代表者会議1回、実務者会議3回、個別支援会議随時開催 (2) 講演会1回、広報うえだ等による啓発 <b>③</b> (1) ハローワーク等と連携した就業支援を実施 (2) 小学5・6年生 各15人
	6	<b>重点目標</b> <b>安全で安心な医療提供体制の確保及び持続可能な経営体制への取り組み</b> 具体的な重点取組項目（箇条書き） <b>①安全で安心な医療の提供及び医療サービスの向上</b> (1) 医師の確保 (2) 助産師の確保 <b>②母乳育児の推進</b> (1) 母乳率データ集積・分析による母乳率増加へのアプローチ体制の構築 (2) 院内全体で取り組むための母乳育児に係る情報の共有と意識の統一 <b>③妊娠・出産から産後ケアまでの継続的支援体制が必要な人に対するサービスなどの提供</b> (1) 産後ケア事業サポート体制の充実 (2) 母乳外来の拡充 <b>④婦人科外来診療の充実</b> (1) 女性の要望に応えた不妊治療等婦人科外来の充実 (2) 婦人科良性疾患の手術の定期的実施 (3) 子宮頸がん検診等実施医療機関としての受け入れ実施 <b>⑤新病院改革プランの進捗管理</b> (1) 点検・評価の実施と見直し (2) 点検・評価結果の公表	達成状況・達成度 <b>①</b> 常勤医師1名、助産師2名を確保した。 <b>②</b> 退院時母乳率目標 85.8% (前年比△0.4%) 母乳育児支援委員会12回開催 母乳推進委員会19回開催 <b>③</b> 関係者会議への出席 3ケース 7回会議 要支援者へのサポート <b>④</b> (1) AIH 年間延5件 (2) 婦人科良性疾患手術 年間2件 (3) 子宮がん検診 年間326件、 特定健診 年間25件 <b>⑤</b> (1) 評価による計画の見直しを実施 (2) 運営審議会、市議会への報告、ホームページへの掲載を実施	<b>重点目標</b> <b>安全で安心な医療提供体制の確保と将来の在り方検討への取り組み</b> 具体的な重点取組項目（箇条書き） <b>①安全で安心な医療の提供及び医療サービスの向上</b> (1) 常勤医師及び固定的応援医師の確保 <b>②母乳育児の推進</b> (1) 母乳率データ集積・分析による母乳率増加へのアプローチ体制の構築 (2) 院内全体で取り組むための母乳育児に係る情報の共有と意識の統一 <b>③妊娠・出産から産後ケアまでの継続的支援体制が必要な人に対するサービスなどの提供</b> (1) 産後ケア事業(宿泊型)の実施【新規】 (2) 院内イベント、広報活動の充実 <b>④婦人科外来診療の充実</b> (1) 女性の要望に応えた不妊治療等婦人科外来の充実 (2) 婦人科良性疾患の手術の定期的実施 (3) 子宮頸がん検診等実施医療機関としての受け入れ実施 <b>⑤新病院改革プランの進捗管理</b> (1) 点検・評価の実施による公表 (2) 病院の在り方への検証と方向性の検討を進める